

2022年度東海インカレ広告補償料について

標記の大会ではエントリー人数に応じて広告補償料を定めます。
金額は以下の通りになります。

参加人数	金額
1～79名	人数×500円
80名以上	40,000円以上

1) 広告補償料について

- ・広告補償料は、大会にかかる費用を少しでも企業様にご支援頂き、大会を学生自らで作るという意味を込めて、出場する全大学から徴収しています。
また、学生にとっては企業と接する良い機会であり、社会勉強の意味も込められています。
企業様から広告協賛を頂けない場合は、広告補償料を部費や個人で負担することになります。
広告補償料のうち、一部を企業様にご負担頂き、残りを部費や個人負担にすることも可能です。

2) 広告依頼文について

- ・大学から企業様へ広告協賛依頼に伺う際や、資料送付の際に使用してください。企業様から広告協賛を頂けることになれば、現金での受け取りか、振込による受け取りかのどちらにするかを確認してください。振込の場合は、部専用の口座や責任者、主務の口座などを広告依頼文の「振込先」に記入してあることを確認し、渡してください。

3) 広告申請書について

- ・2019年度より、大学側が記入する広告申請書を設けています。必要事項を記入した上で、エントリー人数確定後、郵送/FAX/Mailのいずれかで東海学連事務所へお送りください。

※広告に関する各種書類は東海学連ホームページにアップロードするので、ダウンロードして使用すること。

4) 広告申込書について

- ・必要事項を記入の上、広告デザインと一緒に大学から東海学連事務所に郵送/FAX/Mailのいずれかでお送りください。※直接、企業様から事務所に申込書が届くことがないようにすること。
- ・**締切厳守です**。締切翌日の時点で申込書が事務所がない場合、事前に連絡をいただいても対応をいたしかねますので、ご承知おきください。

5) 振込について

- ・広告補償料の振込は、エントリー料を振り込むのと同じに行ってください。
企業様から頂く広告補償料は、大学に対して支払って頂くようお願い致します。

6) 請求書・領収書に関して

- ・企業様宛の関連書類はすべて大学宛てに郵送します。そのため、企業様に発行した請求書・領収書は大学に郵送します。各大学で、郵送された書類を確認したうえで企業様にお届けください。その際、広告申込書に記載の企業様の住所、連絡先が必要になると思いますので、広告申込書は東海学連に送る用と大学で保管する用の2部が必要になります。

7) 大会後に関して

- ・大会終了後、企業様宛用にプログラムと大会の簡易リザルトを大学宛に郵送します。郵送を希望しない場合、その意思表示ができる欄を広告申請書に設けましたのでご記入ください。

以下に広告協賛の簡単な流れを記載します。

○広告依頼文を企業様のもとに届ける（手渡しまたは郵送）
※振込先の記入を忘れずにすること

○広告協賛を頂ける

○広告協賛を頂けない

○次の企業へ or 部費、個人負担

○広告申込書に必要事項を記入してもらい、広告デザインを頂く。
※振込先は学連ではなく依頼した大学ということと、プログラム・簡易リザルトの発送希望を聞く

○4月30日までに広告申込書、広告デザインを東海学連へ送る

○広告申請書をエントリーファイルと同時に東海学連へ送る（エントリー人数が決まらないと広告補償料の金額も分からないため）

○エントリー人数確定後、エントリー料と同時に広告補償料を振り込む